「令和５年度職業能力開発論文コンクール」応募論文　参考様式

（このページは、表紙の参考例を記載しています。）

テーマ

③新たな技能・技術領域の職業能力開発に必要な専門知識・技能・技術及び指導 方法に関する調査・研究

（テーマ名は「職業能力開発論文コンクール実施要領」の応募テーマ①～⑦から選択したものを記載すること。）

副題

社会構造の変化に対応したオンライン職業訓練を〇〇〇〇に適用する際にテクノインストラクターが必要とする専門知識と指導方法に関する調査・研究

（選択したテーマに対して、更に範囲を絞り込んだ内容を論じる場合には副題を設けること。）

（上部にテーマ、副題を記入すること。）

（下部に所属組織名、執筆者名、共著者名を記入すること。）

主執筆者

職業　太郎　　〇〇〇〇立〇〇〇〇職業能力開発〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇校

共著者

能力　次郎　　〇〇法人〇〇〇〇　能力開発研究センター〇〇〇〇

開発　花子　　〇〇会社〇〇〇〇〇〇〇〇　〇〇職業訓練〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇アカデミー

論文教材　懇九郎　〇〇〇〇立〇〇〇〇職業能力開発〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇校

（主執筆者名、共著者名とそれぞれの所属組織名が判別しやすいように記入すること。）

（表紙の行数は４０行以外となってもよいこと。）

（表紙、巻末の引用文献・参考文献の文字数は、論文の文字数に含めないこと。）

要旨

これは「職業能力開発論文コンクール」に応募する論文の参考様式です。必ずしもこの参考様式どおりに作成する必要はありませんが、それぞれのコンクール開催年度の「職業能力開発論文コンクール実施要領」に記載されている内容に従って作成した論文を投稿してください。職業能力開発論文コンクール実施要領の「応募論文の作成要項」の項目には、応募論文の書式等に関する内容が記載されています。職業能力開発論文コンクール実施要領には、論文の章立てについて記載はありませんが、各章に記載する内容・順序については、受賞した際に論文が広報されることを踏まえて構成してください。要旨として記載する内容は、論文全体に何が書いてあるのか理解できるよう簡潔に集約したものとし、背景、方法、結論などを含めて記載します。

## １．はじめに

この参考様式の本文、ページ番号は「職業能力開発論文コンクール実施要領」に記載されているフォントとフォントサイズの書式が設定されています。ページ下部のページ番号のマージンは、下からのフッター位置を１５ｍｍとすることで用紙の下端から１５ｍｍとなっています。１頁の行数は４０行となるように設定しています。**応募論文の本文の文字数は、５，０００字～１６，０００字程度としてください。**（１頁の本文を１，６００字程度とし、図表を用いる項では、１頁の本文を１，２００字程度で編集してください。図表のサイズが大きな場合は引用資料として別に添付し、本文中においては引用としてください。）

## ２．電子データについて

この参考様式は、拡張子「.docx」で作成されていますが、応募者は同じ拡張子のファイルで作成した場合であっても、投稿する際の電子データは、ファイルの種類を拡張子「.pdf」で保存するなどしてＰＤＦ形式に変換してから、印刷状況を確認した上で投稿してください。電子データで投稿された場合には、ファイルの種類やアプリケーションソフトのバージョン違い等により、図表及び文章の改行位置がずれてしまう等の影響が出る場合がありますので、これを避けるためＰＤＦ形式を基にして審査時に扱います。

図表を用いる項では、
１頁の本文を１，２００字程度で
編集のこと。

図１．図表について

○○○

○○○

| | | |
|---|---|---|
| ○○○○○○ | ○○○○○ | ○○○○○ |
| ○○○○○○○○○ | ○○○○○○ | ○○○○○ |
| ○○○○○○○○○○ | ○○○○○○○○ | ○○○○○ |

4．○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○

○○○

1 ○○○

○○○

○○○

○○○

pp.8（2019年）.
[3] 著者名その１，著者名その２：「書名」，編者名，発行所，発行都市名（発行年).
[4] 著者名：「標題」，書名，編者名，章番号，発行所，発行都市名（発行年).
[5] 著者名，Webページタイトル，サイト管理者名等，URL，文書年月または参照年月日.